

IV 自動車事業（市営バス）の安全の取組

1 輸送の安全を確保する体制

1-1 横浜市交通局自動車安全管理規程

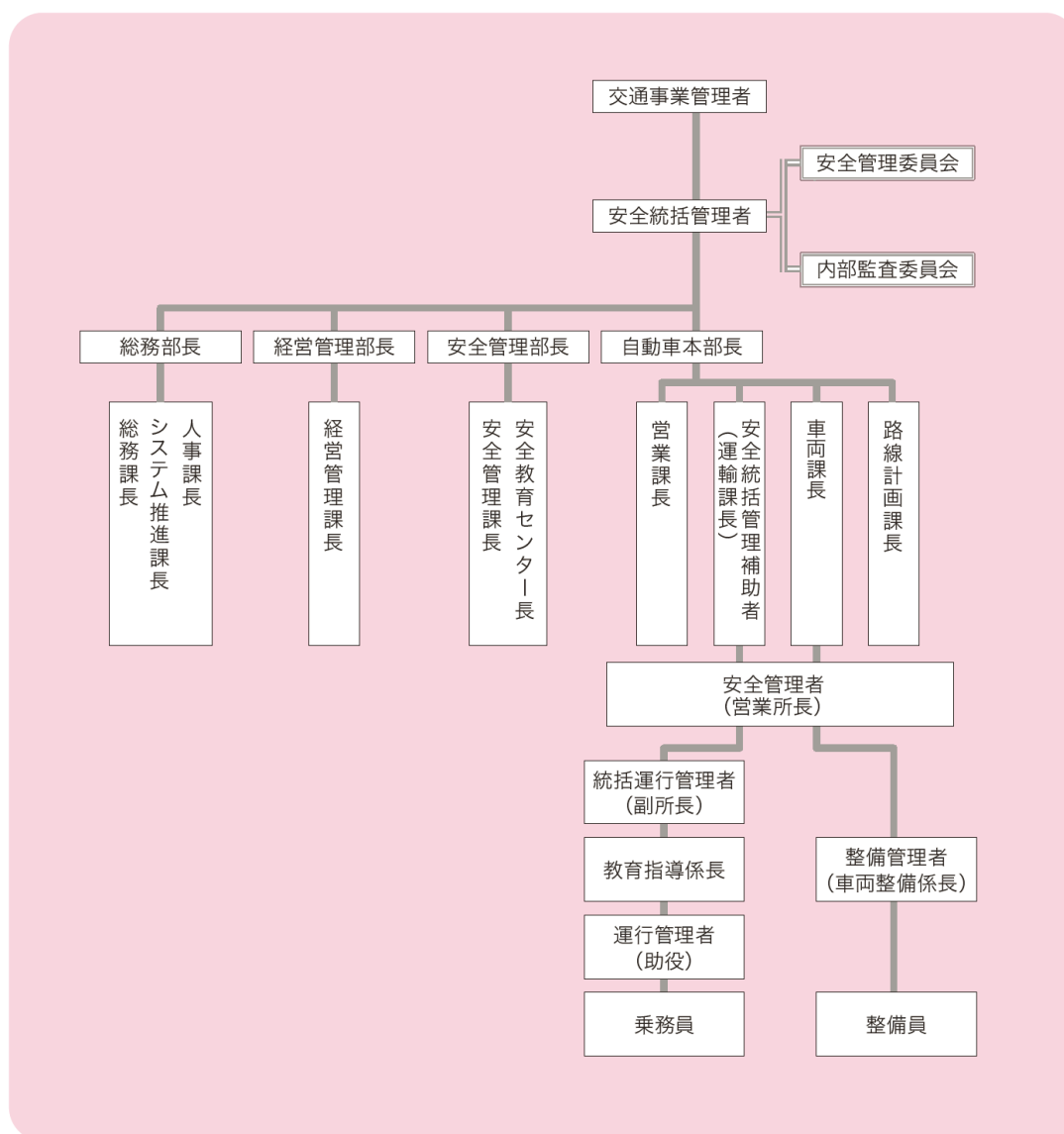
（道路運送法第22条の2に基づき平成18年10月1日制定 最近改正（施行）令和6年4月1日）

輸送の安全を確保するために、次のことについて規程として定めています。

- 輸送の安全を確保するための事業の運営方針等
- 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制と方法

※ 横浜市交通局自動車安全管理規程の全文は、交通局ホームページでご覧いただけます。

1-2 横浜市交通局自動車安全管理体制



令和7年4月1日現在

2 令和6年度安全重点施策・目標達成状況

2-1 令和6年度安全重点施策・目標達成状況

基本的な考え方

平成26年2月17日の重大事故を重く受け止め、全職員が基本、原点に立ち返り、一つひとつの手順を正確かつ確実に実行することで、ヒューマンエラーに起因する事故や重大事故の防止に取り組みます。

また、職員が自ら考え行動するとともに、お客様の気持ちに寄り添う「優しさ」、自分を律する「強さ」、ルールや基本操作を徹底する「素直さ」を持てる職員を育成することにより、安全第一の職場風土の実現と、安全意識の更なる向上を目指します。

さらに、地域と連携した取組によって交通パートナー（お客様を含めた、道路を利用する全ての人と車両）との共存を推進します。

取組計画

1 安全意識を高く持ち、決められたルールを深く認識し、しっかり守ります。

- ・交差点進入時における安全確認の励行
- ・燃費向上の取組強化と運行データの活用
- ・基本ルール（着座完了確認・3秒ルール・車内点検等）の徹底
- ・添乗による指導・教育の強化
- ・各種研修の充実と指導役を担う乗務員の育成

2 安全を維持し向上させていく取組を常に見直し、改善に努めます。

- ・ヒヤリ・ハット情報の活用強化
- ・バス停の安全対策
- ・走行環境の改善
- ・地域と連携した交通安全啓発活動の継続実施
- ・定時性の向上
- ・災害時等対策の強化

3 安全な車両・設備などの提供に努めます。

- ・路上故障の削減
- ・職場環境の改善
- ・安全性向上のための車両改善

4 日ごろからコミュニケーションを活発にし、安全第一の職場風土を築きます。

- ・厳正な点呼執行
- ・人材育成
- ・職員の健康管理サポート
- ・風通しの良い職場づくり
- ・「安全の日」の取組の継続実施

到達目標

重大事故に直結する可能性が高い事故の防止

令和6年度安全重点施策目標及び達成状況

目標・目標件数		令和6年度	令和5年度	令和4年度
歩行者との接触事故	0 件	3(※) 件	1 件	3 件
自転車との接触事故	0 件	3 件	2 件	1 件

※運行委託先による死亡事故1件を含む

2-2 事故統計

(1) 有責事故件数

単位：件

	年間	10万キロあたり
令和6年度	118※	0.46※
令和5年度	102※	0.38※
令和4年度	117	0.42

※保留案件があることから確定値ではありません。

(2) 自動車事故報告規則第2条に規定する事故件数

単位：件

発車反動	急止反動	ドア挟圧	車両動揺	その他	合計
4	5	3	0	6	18

※急止反動・その他には無責の事故も含まれます。

3 安全の取組

3-1 輸送の安全のための措置

(1) ヒヤリ・ハット情報の活用強化

ヒヤリ・ハット活用事例

単位：件

- ・ ヒヤリ・ハット情報をデジタルサイネージ等を使用し、営業所職員に周知しています。
- ・ ヒヤリ・ハット映像を用いKYT（危険予知トレーニング）を行うことで、危険感受性の向上に取り組んでいます。

	ヒヤリ・ハット報告
令和6年度	1,734
令和5年度	1,671
令和4年度	1,533

(2) 職員表彰

単位：名

- ・ 安全運行に努め、無事故、無違反を長期間継続した乗務員を対象として、交通局内で職員表彰を実施しています。
- ・ 国の機関や警察等の外部組織から、長年の業務従事における功績や安全への貢献が顕著な職員が表彰を受けました。

職員表彰名	令和6年度 表彰人数	
	乗務員	整備員
交通局内無事故表彰	20	—
関東運輸局長表彰	6	1
神奈川運輸支局長表彰	20	0
神奈川県警本部長表彰	27	—
日本バス協会長表彰	14	0

(3) 路上故障削減の取組

バス車両の安全を確保するため整備体制の充実とともに職員の技術向上を図り、路上故障の削減につなげます。令和6年度は次の取組を行いました。

単位：件

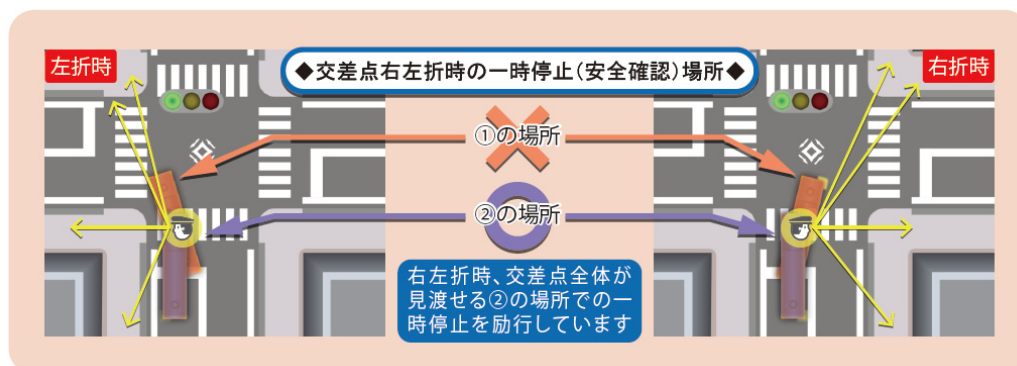
- ・ 不具合情報の検証及び発信
- ・ 故障の傾向や原因分析に基づいた予防整備を実施
- ・ 整備員や整備管理補助者に対する研修を実施
- ・ 整備員に対する外部講師による技術研修を実施
- ・ 電装部品等計画的交換を実施

	路上故障件数
令和6年度	62
令和5年度	62
令和4年度	68

(4) 安全意識の醸成

① 交差点右左折時における安全確認の徹底

交差点での安全確保に高い意識を持ち安全確認の徹底を図るため、各営業所で注意が必要な交差点を全11か所指定し、右左折時の一時停止を義務づけています。



② 毎月 17 日「安全の日」の取組

平成26年2月17日の重大事故を忘れず、職員一人ひとりの安全意識向上を図るため毎月17日を「安全の日」と定めています。営業所責任職による早朝点呼立会いや日常点検立会、交差点（11か所）での安全誘導などを実施しています。

(5) バス停留所の安全対策

国土交通省が令和3年1月に公表した安全性確保対策が必要なバス停留所（交差点又は横断歩道前後5mの範囲に車体がかかる場所等）について、関係機関等と調整を図り安全対策を継続して実施していきます。

また、乗車位置に横断防止柵や植栽があるバス停留所等の乗降環境を整備し、高齢者や車いすをご利用されるお客様にも、安全で安心して利用できるバス停留所を目指しています。



▲バス停留所乗降環境整備

(6) 交通安全教室等の開催

地域の小学校等と連携してバス乗り方・交通安全教室、バリアフリー教室などを開催しています。（令和6年度：39回開催）



▲交通安全教室開催の様子

(7) 地震・津波対策の強化

直近では令和6年能登半島地震が発生したことや、次の南海トラフ地震発生切迫性が高い状態であることから、大地震等が発生した場合、初動対応をスムーズに行えるよう「地震・津波初動対応マニュアル」を作成しました。

「地震・津波初動対応マニュアル」抜粋

2 地震の考え方

横浜市内における大規模な被害が想定される地震は主に次の4つです。

- 元禄型関東地震（相模トラフ）
- 南海トラフ巨大地震（南海トラフ等の遠方）
- 東京湾北部地震（首都直下型のプレート境界型）
- 慶長型地震（南海トラフ等の遠方）



参考【最大震度想定】：横浜行政地図情報提供システム

- ・震度6強…保土ヶ谷営業所、浅間町営業所、滝頭営業所、本牧営業所、鶴見営業所
- ・震度6弱…若葉台営業所、港南営業所、港北営業所、緑営業所、磯子営業所

神奈川県 交通規制計画

（想定地震に基づく交通規制）

「大正型関東地震」「三浦半島新震源域地震」

… 首都高速道路沿線内全域アクアライン、保土ヶ谷 B.P. 全線、横浜道路全線、東名高速道路沿線内全線

「都心南部直下地震」

… 首都高速道路沿線内全域アクアライン、保土ヶ谷 B.P. 全線、横浜道路全線、東名高速道路沿線内全線、246 号の一部

（震度等に基づく交通規制）

震度による交通規制計画（震度 6 強、大津波警報発令）

… 首都高速、国道 1 号（横浜新道）、15 号（東横線）、16 号（保土ヶ谷 B.P.、横浜道路）など

● 定義について

災害（災害対策基本法）… 大規模な災害

暴風、竜巻、豪雨、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事若しくは爆発その他その被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害。

● 災害対策基本法の一部を改正する法律（H26）

緊急車両の通行ルート確保のための緊急車両対策（災害応急対策として創設）。また大雪や故障の際に立ち往生車によって、緊急通行車両の通行が確保できず、災害応急対策の実施に著しい支障が生じるおそれがある場合は、災害対策基本法を適用し道路管理者による移動を行う。

(6) 走行不能となった場合の対応

バスの走行が不可能となった場合には、人命最優先の行動をとる。

（バスを放置する際の設置）

・サイドブレーキを掛け、エンジンを切り、エンジンキーをつけたままにし、車止めを設置する。

・車内への延焼等を防止するため、意・ドアは閉める。メインスイッチは切る。

(7) 津波情報を入手した際の対応

運行再開後に津波に関する情報を入手した際には、「第3章 津波対策編」を参照に行動

します。ただし、内陸部の 4 営業所（若葉台、港南、港北、緑）については、津波情報を入手

後も継続して運行を行います。ただし、浸水想定エリアに向かう路線については、一部運休

とします。3 章 津波対策編 P16 参照

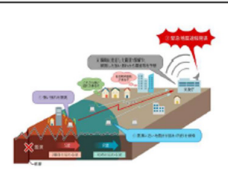
緊急地震速報とは（出典 気象庁）

地震発生後、震源付近の少ない観測点のデータを用いて、できるだけ早く震源やマグニチュード(M)を推定します。その震源とマグニチュード(M)を元に、各地点の揺れの強さ（震度）と長周期地震動継続と到達時刻を予測します。全国約 690 箇所の気象庁の地震計・震度計を利用して。

なお、地上波民放テレビ各社では、最大想定震度5以上の地震が発生した場合、震度4以上が予想されるエリアに対して「緊急地震速報」を放送します。

※ 緊急地震速報で用いられる名称：横浜市 18 区

→【神奈川県東部】



【注意事項】

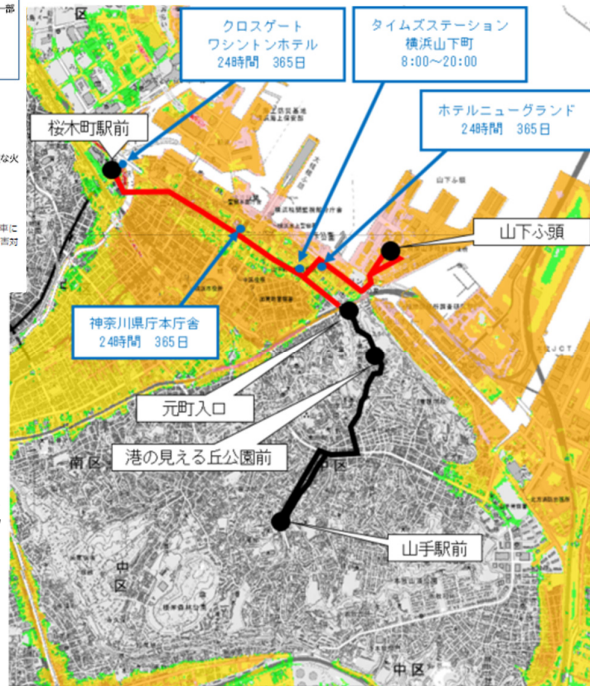
市営バスには「インターホンアンプ（緊急ラジオ付 CI-2000）」が搭載されています。このアンプは、FM ラジオ放送の「緊急地震速報」及び「緊急警報放送」を常時監視し、いずれかを受信した際に放送を開始します。

※緊急地震速報が横浜市のエリアである「神奈川県東部」以外にも受信することがあるため、緊急地震速報を受信しても、地震が来ない時もあります。

なお、受信放送時間は 3 分です。



CI-2000



「神奈川県津波浸水想定図」を基に作成

3-2 輸送の安全に関わる訓練及び研修の充実・強化

事故未然防止研修

- ・ 基本的な運転操作をはじめ、交差点における安全確認方法等、実車を活用した訓練を実施しています。
- ・ ドライブレコーダー映像を教材にした危険予知訓練を実施しています。

開催回数	198 回
参加人数	363 名

事故の再発防止に向けた研修

- ・ 研修の理解度を高めるため、事故発生時や通常業務時のドライブレコーダー映像を使用して講師とマンツーマンで面談を実施し、乗務員に運転の癖を気づかせ、運転技術の向上を目指します。
- ・ 人身事故や静止物との接触事故、構内事故などを起こした乗務員に対して運転技能研修を実施しています。
- ・ 令和3年度から、経験の浅い乗務員を対象に自身の運転を振り返るフォローアップ研修を実施しています。

開催回数	21 回
参加人数	88 名

新採用乗務員養成研修

- ・ 採用した乗務員が営業所に配属される前に、実車を使用して危険予知や安全確認・省エネ運転等の運転操作を習熟させる研修を実施しています。
- ・ 特に、バス乗務未経験者には初歩的な運転操作から実習させ、習熟度に応じた丁寧な教育を施した上で営業所に配属しています。

開催回数	6 回
参加人数	108 名

ゴールドマスタードライバー研修

- ・ 新採用乗務員の指導や運転実技研修における講師を担うゴールドマスタードライバーに任命された乗務員に対し、その心構えや必要な知識等を学ぶ研修を実施し、指導方法の統一化と意識向上を図ります。
- ・ また、安全確認や運転操作だけではなく接遇面でも質の高い指導を行える研修を実施しています。

開催回数	1 回
参加人数	13 名



▲自身の運転映像を用いた指導



▲運行前点検（エンジン・オイルの量を確認）



▲実車を用いた運転研修



▲座学での研修

4 令和7年度安全重点施策

基本的な考え方

平成26年2月17日の重大事故を重く受け止め、全職員が基本、原点に立ち返り、一つひとつの手順を正確かつ確実に実行することで、ヒューマンエラーに起因する事故や重大事故の防止に取り組みます。

また、職員が自ら考え行動するとともに、お客様の気持ちに寄り添う「優しさ」、自分を律する「強さ」、ルールや基本操作を徹底する「素直さ」を持てる職員を育成することにより、安全第一の職場風土の実現と、安全意識の更なる向上を目指します。

さらに、地域と連携した取組によって交通パートナー（お客様を含めた、道路を利用する全ての人と車両）との共存を推進します。

取組計画

1 安全意識を高く持ち、決められたルールを深く認識し、しっかり守ります。

- ・交差点進入時における安全確認の励行
- ・燃費向上の取組強化と運行データの活用
- ・基本ルール（着座完了確認・扉操作時の安全確認・
- ・添乗による指導・教育の強化
- 車内点検等）の徹底
- ・各種研修の充実と指導役を担う乗務員の育成

2 安全を維持し向上させていく取組を常に見直し、改善に努めます。

- ・ヒヤリ・ハット情報の活用強化
- ・バス停の安全対策
- ・走行環境の改善
- ・地域と連携した交通安全啓発活動の継続実施
- ・定時性の向上
- ・災害時等対策の強化

3 安全な車両・設備などの提供に努めます。

- ・路上故障の削減
- ・職場環境の改善
- ・安全性向上のための車両改善

4 日ごろからコミュニケーションを活発にし、安全第一の職場風土を築きます。

- ・厳正な点呼執行
- ・人材育成
- ・職員の健康管理のサポート
- ・風通しの良い職場づくり
- ・「安全の日」の取組の継続実施

到達目標

重大事故に直結する可能性が高い事故の防止

歩行者との接触事故 【撲滅】 ／ 自転車との接触事故 【撲滅】

項目	到達目標
歩行者との接触事故	0 件
自転車との接触事故	0 件